



# LRQA独立保証声明書

## パナソニック エナジー社の 2024 年度環境データに関する保証

この保証声明書は、契約に基づいてパナソニック エナジー株式会社に対して作成されたものである。

### 保証業務の条件

LRQA リミテッド（以下、LRQA という）は、パナソニック エナジー株式会社（以下、会社という）からの委嘱に基づき、会社の 2024 年度（2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）の会社の環境データ（以下、報告書という）に対して、検証人の専門的判断による重要性水準において、ISAE 3000（改訂版）及び温室効果ガス（GHG）排出量については ISO14064-3:2019 を用いて、限定的レベルの独立保証業務を実施した。

LRQA の保証業務は、会社とその国内外連結会社の運営及び活動<sup>1</sup>に対して、以下の要求事項を対象とする。

- 会社の定める報告手順への適合性の検証
- 以下の指標に関するデータの正確性及び信頼性の評価<sup>2 3</sup>

#### GHG 排出量

- Scope1 排出量（内訳を含む）(tCO<sub>2</sub>e)
- Scope2 排出量（内訳を含む）(tCO<sub>2</sub>e)
- CO<sub>2</sub> クレジットによるオフセット(tCO<sub>2</sub>e)

#### 脱炭素化の取り組み

- CO<sub>2</sub> 削減貢献量 (ktCO<sub>2</sub>e)
- 自社の CO<sub>2</sub> 実質ゼロ工場達成数 (17 拠点)<sup>4</sup>

#### エネルギー使用量

- 再生可能エネルギー由来電力(MWh)
- 再生可能燃料消費(バイオ燃料等) (MWh)
- 非再生可能エネルギー由来電力(MWh)
- 非再生可能燃料消費(燃料・熱・蒸気等)(MWh)

#### 廃棄物、水、化学物質

- 発生した廃棄物量(kt)
- 総取水量(千 m<sup>3</sup>)
- 管理対象の化学物質排出・移動量（総量）(t)<sup>5</sup>

LRQA の責任は、会社に対してのみ負うものとする。本声明書の脚注で説明されている通り、LRQA は会社以外へのいかなる義務または責任を放棄する。会社は報告書内の全てのデータ及び情報の収集、集計、分析、公表、及び報告書の基となるシステムの効果的な内部統制の維持に対して責任を有するものとする。報告書は会社によって承認されており、その責任は会社にある。

### LRQA の意見

LRQA の保証手続の結果、会社が全ての重要な点において、

- 自らの定める基準に従って報告書を作成していない
- 下表 1 に要約された環境データを開示していない

ことを示す事実は認められなかった。

<sup>1</sup> 事業活動におけるエネルギー消費量、スコープ1GHG 排出量のうちエネルギー起源の CO<sub>2</sub> 及びスコープ2 GHG 排出量は会社とその国内外連結会社のうち生産拠点と非生産拠点を対象範囲とする。エネルギー起源 CO<sub>2</sub> 以外の温室効果ガス排出量、スコープ1 GHG 排出量のうちエネルギー起源 CO<sub>2</sub> 以外の GHG 排出量、廃棄物の発生量、管理対象の化学物質排出・移動量（総量）は会社とその国内外連結会社のうち 20 生産拠点を対象範囲とする。

<sup>2</sup> 環境データについて限定的保証業務を行った。

<sup>3</sup> 統合レポート 2025 及びサステナサイトにおいて★マークを付した GHG の定量化には、固有の不確かさが前提となる。

<sup>4</sup> CO<sub>2</sub> 実質ゼロ工場(17 工場)は別添に示す。

<sup>5</sup> データ収集・集計の体制が整っていない一部の会社を対象外としている。

この保証声明書で表明された検証意見は、限定的保証水準<sup>6</sup>、及び検証人の専門的判断に基づいて決定された。

表 1. パナソニック エナジー株式会社の 2024 年度環境・社会データの要約

対象項目	2024 年度	単位
Scope1 排出量	36,139	tCO <sub>2</sub> e
Scope2 排出量(マーケットベース)	216,630	tCO <sub>2</sub> e
CO <sub>2</sub> クレジットによるオフセット	48,231	tCO <sub>2</sub> e
CO <sub>2</sub> 削減貢献量	16,315	ktCO <sub>2</sub> e
自社の CO <sub>2</sub> 実質ゼロ工場達成数	17	拠点
再生可能エネルギー由来電力	424,521	MWh
再生可能燃料消費(バイオ燃料等)	0	MWh
非再生可能エネルギー由来電力	497,160	MWh
非再生可能燃料消費(燃料・熱・蒸気等)	251,127	MWh
発生した廃棄物量	39.18	kt
総取水量	1,578	千 m <sup>3</sup>
管理対象の化学物質排出・移動量	198	t

## 保証手続

LRQA の保証業務は、ISAE3000 (改訂版)と GHG については ISO14064-3:2019 に従って実施された。保証業務の証拠収集プロセスの一環として、以下の事項が実施された。

- 報告書内に重大な誤り、記載の漏れ及び誤りが無いことを確認するための、会社のデータマネジメントシステムを審査した。LRQA は、内部検証を含め、データの取扱い及びシステムの有効性をレビューすることにより、これを行った。
- データの収集と報告書の作成に関わる主たる関係者へのインタビューを行った。
- サンプリング手法を用いて、集計されたデータの再計算と元データとの突合を行った。
- 2024 年度の環境データに関する記録および情報の検証を行った。
- 徳島工場を訪問し、データの収集及び記録管理の実施状況の確認を行うと同時に、各種設備の現場確認を実施した。
- 実質的な CO<sub>2</sub> 排出量を達成するために、電力については、再生可能エネルギー契約または非化石証書の利用による完全再エネ利用し、及びその他のエネルギーについては、利用可能なカーボンクレジットを使用してカーボンオフセットすることにより、対象となる各拠点がカーボンニュートラル化を達成していることを確認した。<sup>7</sup>

## 観察事項

環境データ収集対象活動の抽出における完全性を確保するための、手順書への反映や拠点への周知が期待される。

## 基準、適格性及び独立性

LRQAはISO14065 “温室効果ガス—認定又は他の承認形式で使用するための温室効果ガスに関する妥当性確認及び検証を行う機関に対する要求事項”、ISO17021-1 “適合性評価—マネジメントシステムの審査及び認証を行う機関に対する要求事項—第1部：要求事項”に適合する包括的なマネジメントシステムを導入し、維持している。これらは国際会計士倫理基準審議会による国際品質管理基準1と職業会計士の倫理規定における要求も満たすものである。

LRQAは、その資格、トレーニング及び経験に基づき、適切な資格を有する個人を選任することを保証する。全ての検証及び認証結果は上級管理者によって内部でレビューされ、適用された手続が正確であり、透明であることを保証する。

<sup>6</sup> 限定的保証業務の証拠収集は、合理的保証業務に比べて少ない範囲で行われ、各拠点を訪問して元データを確認するより集計されたデータに重点を置いている。従って、限定的保証業務で得られる保証水準は合理的保証業務が行われた場合に得られる保証に比べて実質的に低くなる。

<sup>7</sup> 会社のGHG 排出量について、最終結果はカーボンオフセットによるGHG 排出量の相殺を行っている。LRQA は、オフセットクレジットが会社により取得され、適切に相殺されていることを確認したが、LRQA はこれらのオフセットクレジットの提供者に対していかなる手続きも行っておらず、オフセットクレジットがCO<sub>2</sub> 排出量の削減をもたらすかどうかに関して意見を表明していない。



LRQAは会社のISO 9001、ISO 14001、IATF16949、AS9100の認証機関である。これら認証業務は、LRQAが会社に対して行っている保証業務に関して、LRQAの独立性や公平性を損なうものではない。

署名

2025 年 8 月 28 日

飯尾隆弘

飯尾 隆弘

LRQA 主任検証人

LRQA リミテッド

神奈川県横浜市西区みなとみらい 2-3-1 クイーンズタワーA 10F

**LRQA reference: YKA00001141**

LRQA, its affiliates and subsidiaries, and their respective officers, employees or agents are, individually and collectively, referred to in this clause as 'LRQA'. LRQA assumes no responsibility and shall not be liable to any person for any loss, damage or expense caused by reliance on the information or advice in this document or howsoever provided, unless that person has signed a contract with the relevant LRQA entity for the provision of this information or advice and in that case any responsibility or liability is exclusively on the terms and conditions set out in that contract.

The English version of this Assurance Statement is the only valid version. LRQA assumes no responsibility for versions translated into other languages.

This Assurance Statement is only valid when published with the Report to which it refers. It may only be reproduced in its entirety.

Copyright © LRQA, 2025.



別添

**CO<sub>2</sub>実質ゼロ工場 (17 拠点)**

1. パナソニック エナジー無錫 (有)
2. パナソニック エナジー蘇州 (有)
3. パナソニック エナジータイ (株)
4. パナソニック ブラジル (有) (サンジョゼ)
5. パナソニック セントロアメリカーナ (株)
6. パナソニック エナジー (株) 洲本工場
7. パナソニック エナジー東浦 (株)
8. パナソニック エナジー南淡 (株)
9. パナソニック エナジー インド (株)
10. パナソニック エナジー メキシコ (株) SS
11. パナソニック エナジー (株) 住之江工場
12. パナソニック エナジー (株) 徳島工場
13. パナソニック エナジー (株) 二色の浜工場
14. パナソニック カーボンインド (株)
15. パナソニック エナジー (株) 和歌山工場
16. パナソニック エナジー (株) 守口工場
17. パナソニック エナジー貝塚 (株)